

『授業連携報告書』

学校名 四日市市立桜中学校

授業のテーマ

宇宙航空研究開発機構(JAXA)と宇宙について

目標(授業連携をした目的等)

JAXAがどういった活動をおこなっていて、それがどのように私たちの社会とつながっているのかを具体的に知る。そして宇宙の学習がより身近に親しみやすくなること。また、今後の宇宙についての学習をより関心をもって進められること。

実施対象	学年	3	1~3	クラス	合計	80	名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)		地球単元			
単元	単元の導入		授業日	11	月	29	日

授業連携の前後の授業内容について

前	宇宙についての一般的な話や、太陽系や銀河系についての話をして導入とした。
後	月に行く計画や火星で生活するなど具体的な内容に踏み込んで話をしたことで、より興味をもって授業にのぞむ姿が見られた。

時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 10分	あいさつ 本時の内容の確認 講師の自己紹介 JAXAのお仕事クイズ	はじめはやや緊張した様子で講師の話の聞いていた。 本時の学習内容を確認して、クイズの答えを予想し、リラックスできた。	生徒の様子を見ながら適宜声をかけていった。
展開 30分	・グループワーク① 「コミュニケーション力を鍛えよう！」 ・グループワーク② 「宇宙技術のクイズ」	・動画の指示に従いながら、パズルを並べていった。出来上がった図と正解を見比べながら、周りの生徒とどこが違うのか言い合っていた。 和やかな雰囲気での活動が進み、伝えることの難しさを実感することができた。 ・説明を聴きながらどこに宇宙開発の技術が使われているのかをまずは自分で考えていた。そのあと、班の隊形になって話し合い活動を行い、グループの中で意見を交流させていた。最後に全体の場で各班の代表(班長)が順番に答えていった。	・活動中は見守りを中心に全体を観察していた。活動後、出来た図を見ながら生徒に声をかけ、どうだったかを聞いていった。 ・生徒の様子を見ながら各班に声をかけて回り答え方や考え方、視点についてアドバイスをを行った。 ・発表の場面では、生徒を指名していった。
まとめ 10分	まとめ あいさつ	いろいろな最先端技術がJAXAにはあることを知り、またそれらの技術の基礎になるのが、今学校で行われている学習であることを理解していた。	最後にお礼とまとめを行い、授業を終えた。

授業連携の感想・メモ

宇宙開発がどこか遠くで自分には関係ないと思われていたことが、実は身近な物や普段使っているものにその技術が使われていることがわかり、宇宙についての学習がこれまでよりも意欲的に行うことができました。また、具体的な内容が多く生徒にとってもわかりやすくお話していただいたのでとても満足しています。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
宇宙やJAXAについての話題が教室の中で聞かれるようになった。ロケットの打ち上げについても知っている生徒がおり、生徒どうしで話をしていた。他の惑星での生活や移住について質問してくる生徒がいた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	